

広報



ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場秘書課編集

電話 (018876) 代 2100番

印刷所 湖 東 印 刷 所

電話 (018876) 2430番

一部 5円 郵便番号 018-17

毎月 1日・15日発行

無念、政志世界の王座を失う

健闘むなしく判定負け



十二ラウンド・反撃する工藤選手の右ストレートがカルレ選手の顔面に決まる

(広報紙中にある写真を欲しい方には
おあげします)

世界ボクシング協会(WBA)世界ジュニアミドル級チャンピオン工藤政志選手の四回目の防衛戦は、挑戦者に同級一位のアユブ・カルレ(ウガンダ)を迎えて、十月二十四日午後七時半から秋田市・県立体育館で行われた。チャンピオンの工藤選手は、地元ファンの熱狂的な声援をうけて健闘したが、3対0の判定で敗れ、昨年八月に、地元秋田でエディ・ガソ(ニカラグア)を破って獲得したチャンピオンの座を、同じ地元で失う残念な結果になった。また、プロにデビューして以来、無敗を誇ってきた連勝記録も、二十三勝でストップした。

大声援をうけての反撃も功をそうせず

挑戦者のカルレ選手は、同級のランキング者八人を破っている強豪であり、また工藤選手は地元でのタイトルマッチとあって、血のにじむような練習を積んでこの試合にのぞんだ。工藤選手の後援会では必勝を期して、当町から千人の大応援団を編成し、県立体育館の東側三階の席を中心に陣取った。応援団は全員が必勝の文字を染め抜いたはちまきをし、手には日の丸と若草色の町の小旗を振っての応援であった。また、つめかけた一万人の観衆は、ほとんどが工藤選手のファンであった。

サウスボースタイルでジリジリと前に出てくるカルレ選手に対し、工藤選手は初回からロープを背にする形になったが、五回終了寸前、工藤選手の右ストレートが相手の顔面に決まり、カルレ選手がおもわずぐらりとなった。もう三十秒あればという惜しいチャンスであった。足を使い、ジャブストレートといろいろな角度からパンチをくりだすカルレ選手に対し、工藤選手も負けじと反撃するが、有効打が少なくクリンチも巧みにかわされた。九回、工藤選手の左右のストレートが決まり場内が沸いたが、それまでであった。

最終ラウンド、KO勝ちをねらう工藤選手はマウスピースをはきだし打ち合いにいったが、カルレ選手の判定勝ちをくつがえすことはできなかった。

政志・戦い終って故郷を訪れる

試合の翌日(二十五日)当町を訪れた工藤選手は「応援にかけつけてくれた町の人たちの期待にこたえるよう頑張ったが、このような結果になって申しわけない」と語った。また同行して来た高橋トレーナーは「工藤選手をゆっくり休養させ、その後で工藤選手の進退について結論をだしたい」と話していた。

福田氏ら晴れの表彰

文化の日町功労者表彰式典

十月八日開かれた町功労者選考委員会、今年度諮問された該当者を審議した結果、次の四人の方が選ばれた。

それによると、自治の進展に尽くされた福田大太郎(七三)氏、自治の進展と民生の安定・産業の振興に功績のあった宮田清三郎(七三)氏、長年農業気象の観測を続け産業の振興に尽くされた猿田俊蔵(七二)氏、本業のかたわら川柳すずむし吟社を主宰、この町の学芸文化の進展に尽くされた渡辺彦次郎(七〇)氏の四氏が、今年度の功労者として、十一月三日表彰されることになった。

当日、納税個人、団体功労、国保無傷病世帯、献血功労者なども表彰される。

●町功労者(敬称略)

・自治の進展

福田 大太郎

明治三十九年三月十一日生

昭和三十一年から三十七年十二月まで、五城目町国民健康保険運営協議会委員(昭和三十一年一月一日から同会長)、昭和三十六年八月から四三年九月九日まで、五城目町選挙管理委員として国民健康保険事業の運営、明るく正しい選挙の推進に尽くされるかたわら、青色申告の普及推進に寧日ない努力を傾注されるなど、自治の進展につく

・自治の進展 民生の安定 産業の振興

宮田 清三郎

明治三十九年五月九日生



昭和三十一年三月から四三年三月までと、同四七年三月から五二年三月まで四期一六年間、五城目町議会議員(副議長、議会運営委員長、土木委員長、統合小学校建設特別委員、決算特別委員、総務委員)として地方自治の進展につく

し、本町発展の基盤を培われたほか、五城目地区交通安全協会副会長、同五城目支部長、五城目町商工会副会長、五城目町観光協会副会長として、本町の交通安全対策および産業の振興につくされた功績は大きい。

・産業の振興

猿田 俊蔵

明治四一年七月二七日生

五城目町農業協同組合理事(二年)五城目町農業委員(六年)五城目土地改良区理事に一七年間就任され、終戦後における動播期



の農家をよく指導されたほか、昭和三十九年以來農業気象観測を担当され、地域的な気象と稲作との関係継続調査し、稲作栽培の指針に寄与するなど、本町の産業振興に大きく貢献された。

・学芸文化の進展

渡辺 彦次郎

明治四二年九月二七日生

昭和一一年川柳すずむし吟社を主宰、万物を詩いあげる庶民の一行詩として、その漫漶をはかるたうき国で創作活動が続ける

かたわら、町内の婦人会有志、中学校川柳クラブの指導にあたり、県内有数の川柳人口をかかえる町に育てあげた。また、昭和二十一年五月湖東公論(現湖東新聞)を創刊、時代の動きを鋭い直観力できえ、時代の姿勢を持ち、透徹した



心眼を新聞の編集に反映させながら地域発展の向上に果たした功績は大きい。

●納税功労者(個人)

次の方々は納税貯蓄組合長として組合員の指導にあたり、納税思想の普及と納税意欲の向上につくめた功績はきわめて大きい。

齊藤 正美

(館越納税貯蓄組合長)

●優良納税功労(団体)

組合設立以来、連続納税期内完納を二〇年間、もしくは一〇年間にわたって継続し、町財政に寄与するところ誠に大きく、他の模範である。

▽二〇年連続

昭辰町納税貯蓄組合
組合長 伊藤 一実

種口 猿田孝男
恋地上 佐々木清美
八田 小玉鉄治
下樋口第一 笹川兼吉
下樋口第二 嶋崎貢
谷地中第一 佐藤喜久治
中川原 佐藤重治

▽一〇年連続

雀館納税貯蓄組合
組合長 森田義春
田町 千葉 信一
館町 林崎 信一

●国保無傷病世帯

国保加入世帯で、連続二年以上国保の医療給付を受けなかった模範的な健康優良世帯である。

四年連続 竹内栄三郎 紀久栄町
三年連続 金野 亀治 平ノ下
三年連続 佐藤兼太郎 小倉
二年連続 渡部喜太郎 新崎
館岡 薫 高崎
石井 銀一 町村
畠山 秀喜 上山内
畑沢 ミヨ 湯ノ又
小熊新五郎 大川

●献血功労

献血の重要性を認識され、二〇回以上率先して献血したその博愛の精神は他の模範である。

二四回 菅原 秋雄 館町
二一回 加藤 昭男 西野
二〇回 菊地 春治 畑町
二〇回 宮川 謙一 帝釈寺

●優良交通指導員

永年にわたり交通指導員として積極的に街頭指導を推進し、交通安全思想の高揚と交通事故の防止に努められた方々。

猿田 日出男 上樋口
桜庭 勇助 館町
川哲男 下樋口

統計功労で多数の方が表彰される

十月十六日、県教育会館で行われた秋田県統計功労者表彰式で、当町の鳥井さん(上樋口)と渡部さん(新畑町)が、知事表彰を受けた。これは永年、統計調査員として功労のあった人に贈られるものである。

また、当町の杉沢中学校は、秋田県統計グラフコンクール連続応募校として、秋田県統計協会会長から感謝状が贈られた。毎年、同校では県統計グラフコンクールで入賞者をだしており、今年も四人の生徒が入賞している。

十月十六日、県労働福祉センターで行われた第七回統計の日記念式典でも、当町の四人の方たちが農林水産大臣から表彰された。これは、継続協力年数五年以上の方たちが表彰されたものである。

●知事表彰

鳥井 市朗(上樋口)
渡辺 志郎(新畑町)

●農林水産大臣表彰

―農畜産物生産費に関する調査に
―十年以上―
草 皆 茂 樹(帝釈寺)
草 皆 稔(帝釈寺)

△五年以上▽

伊藤 重雄(町村)
石井 勇(町村)

●統計グラフコンクール

・中学校の部入選
石川 勝好(杉沢中三年)
・同 佳作
佐々木まき子(杉沢中二年)
佐々木恵理子(杉沢中二年)
越 高 泉(杉沢中二年)



下 夕 町 の 住 宅 地

下夕町の住宅地は、毎年七月一日現在で県内四一七地点(基準地)の標準価格を決定して公表している。これは売買予定価格の適否の判断基準になるほか、一般の土地取引価格の指標として利用できるものである。

当町の基準地は、住宅地・下夕町一・二番地、七倉一・二番地一・三番地、下山内字下川原三・七番地一・三番地、下夕町二・二番地一・三番地、準工業地・高崎字里下一・八番地となっている。

標準価格は、下夕町一・二番地の住宅地が一平方メートル当り一五・三〇〇円で、昨年より五・五%上昇しており、町内五カ所の基準

下 夕 町 商 業 地

三・三平方メートル 当り標準価格 九万七千円

県では、毎年七月一日現在で県内四一七地点(基準地)の標準価格を決定して公表している。これは売買予定価格の適否の判断基準になるほか、一般の土地取引価格の指標として利用できるものである。

当町の基準地は、住宅地・下夕町一・二番地、七倉一・二番地一・三番地、下山内字下川原三・七番地一・三番地、下夕町二・二番地一・三番地、準工業地・高崎字里下一・八番地となっている。

標準価格は、下夕町一・二番地の住宅地が一平方メートル当り一五・三〇〇円で、昨年より五・五%上昇しており、町内五カ所の基準

県内の一平方メートル当りの平均価格(基準地ごとの価格の合計を当該基準地数で除したものの)は住宅地四、八二〇円、商業地四、八二〇円、準工業地一三、六〇〇円で、町だけ(市、村を除く)に

関しては、住宅地六、六二〇円、商業地一、九六〇円、準工業地六、七七〇円となっている。

なお、土地売買などの契約を締結しようとする場合、市街化区域二、〇〇〇平方メートル以上、都市計画区域五、〇〇〇平方メートル以上、都市計画区域以外の区域一〇、〇〇〇平方メートル以上については、あらかじめ

多彩な行事を計画

— 青少年健全育成強調週間 —

十一月一日から三十日まで青少年健全育成強調週間である。これは、青少年がいろいろな実践活動により、社会参加を積極的に行うことを奨励するとともに、県民の青少年健全育成に対する理解と自覚を高めようというものである。

期間中、県はじめ関係機関では

- ① 青少年の社会参加活動の促進
- ② 地域における青少年育成活動の促進
- ③ 健全な家庭生活の普及促進

を実施重点事項にかかげ、次のような行事を計画している。

利用種目	所 在	単 価	
		昭 54	前年比
住 宅 地	五城目町下夕町	15,300円	5.5%
	〃 字七倉	12,000	4.3
	〃 富津内下山内 字下川原	6,400	3.9
商 業 地	〃 字下夕町	29,600	2.1
準工業地	〃 高崎字里下	5,900	2.1

※実際の取引価格はこちらより高くなっている。

① 青少年保護育成巡回活動
能代地区、横手地区、本荘地区を中心として、広報車で月間のPRを行う

② 青少年の社会参加実践活動
子ども会、育成会を中心となりその地区の遊園地、町内道路の清掃活動を行う

③ 青少年問題地区会議の開催
県内七地区(県福祉事務所単位)に地域の青少年問題についての話し合いを行う

④ 青少年健全育成バネル展の開催
本荘市、能代市、横手市において、青少年の活動を中心としたバネル展を行う。能代市の場合は、能代市公民館で十一月十五日から二十二日まで。

⑤ 有害雑誌をなくす県民運動
有害雑誌について実態調査を行い、その対策について話し合う。

また、白ポストの利用についての運動を進める。

⑥ 青少年育成県民運動推進集会
十二月七日午前十時、秋田銀行本店大会議室

⑦ 未成年者の喫煙防止県民運動
関係機関、団体を中心に協議し、地域の実態に即した対策をすすめる。

全国青年大会に30名参加

第二十八回全国青年大会は、十一月八日から十一日まで、東京・国立競技場を主会場に行われる。これは、全国の勤労青年が一堂に会し、体育、文化、意見発表などを行うもので、当町からは役員、選手など三十名が参加し、陸上競技、バドミントン、合唱、美術展に出場する。

一行は十一月七日、秋田市、県青年会館で、全県からの参加選手と合同して結団式を行った後、同日の秋田発午後七時七分の列車で東京に向かうことになっている。

また、十一月五日午後七時から商工会館で、五連青による壮行会が開かれることになっている。

当町からの参加者は次のとおり(順不同・敬称略)

加藤 成雄 近江すえ子
金野 喜益 千田 賢悦
小玉 運一 沢田石 登
渡辺 美春 松橋 優子
加藤 繁美 千葉健二郎
伊藤 榮作 石井喜美雄
伊藤 聡 石川 嘉博
小玉 清光 伊藤 真紀
石井五兵衛 越前 和美
青山 幸子 長谷川篤子
越前 孝子 伊藤 淳子
伊藤 敦子 伊藤 洋子
小玉真紀子 大信田美也子
佐々木仁茂 石井 請子

役場職員採用試験 受験者は二十九人

十月二十二日午前十時から、役場第一会議室で、五十五年度五城目町役場職員の採用試験が行われた。これは第一次試験で、公務員として必要な一般的知識と知能に

最終合格者の氏名は、十二月末日までに発表される予定である。

役場職員採用試験 第二次試験の内容は、口述試験

作文、身体検査、身上調査となっており、一次試験の合格者を対象に十一月中に町民センターで行われる。

第二次試験の内容は、口述試験



役場会議室で行われた筆記試験

ついでに筆記試験である。当日の受験者は高卒二十三人、大卒六人で同時に行われた。

来年度の採用予定人員は男子職員だけで、高卒四名、大卒一名である。受験者たちは、試験についての注意と説明を受けた後、真剣に問題に取りくんでいた。

第一次試験の合格発表は、十一月中に行い、合格者の氏名を役場前掲示板に張りだすほか、合格者に通知することになっている。

在宅障害者の訪問指導と

日本人の老人ホームを見学して

今年の四月に、ロサンゼルス近郊の病院で一月間理学療法法の研修をする機会に恵まれました。

理学療法法といってもピンとこない人が多いと思いますが、リハビリテーション医療の中で、作業療法や言語療法などとともに重要な職種とされています。特に脳卒中患者に対する運動療法は、従来のマッサージや温泉治療などに代って機能回復に大きな役割りを果たしています。

今回の研修は、国際資料企画センター所長の田村貞雄氏の企画によるもので、全国から四名の理学療法士が応募し、主として脳卒中と脊髄損傷について三つの病院で一週間ずつ研修を受けました。また南カリフォルニア州立大学病院や、カリフォルニア州立大学病院(ジョンウエインが入院していたことは後で知りました)などの有名な病院や施設を見学しました。私は米国の訪問リハビリテーション・サービスに興味がありましたので、特別にお願いで米国では有名なカイザー病棟の訪問理学療法法の模様を見学することができました。また、日本人の一世や二世の方々の特別養護老人ホームも見学することができましたので、米国における老人問題について印象を述べてみたいと思います。

訪問リハビリテーション活動
カイザー病棟訪問リハビリテーション部に所属するスタンレー・ルノルフ氏はこの道二十年のベテランで、彼自身が運転するフォードに同乗して三名の患者家庭を訪問しました。

最初はパーキンソン氏病に大腿骨の骨折を合併した黒人の老人でした。ルノルフ氏の話によると、家族が世話をやきすぎたので患者は意欲を失ない寝たきりになって

いるが、どうにかして車椅子を動かすようにするのが目的だそうです。ルノルフ氏はおよそ一時間にわたって汗みどろになって患者を励まし、手足を動かしたり、曲つてしまった膝を伸ばす

ために、即製の砂袋を作つて家族に指導していました。家には奥さんと娘さんそれに孫娘がおり、皆で熱心にルノルフ氏の説明を聞いていました。核家族の多い白人社会と異なり黒人の家庭は家族の結びつきが強く、親の扶養は当然という日本の農村地帯と同じ習慣があり、気持の温まる思いがしました。

次に訪問したのは軽い脳卒中の白人の患者で、老人夫婦だけの中流以上とみられる家庭でした。三カ月前までは歩行器に頼つて歩いていましたが、心臓も悪いので今ではほとんど車椅子の生活をしており、奥さんの全面的な介助を受けていました。病室にはスイッチ一つで動くベッドや、とこずれ予防のマット、それに息子さんが作ってくれたという手すりなどに行き届いた配慮を感じました。このような設備がどの障害者の家にも普及しているのは、さすが物量の国アメリカだなと感じた次第です。しかし子どもたちが成

長して家を離れ、残された老夫婦だけが広い立派な家に住んでいるのも淋しいものではないかと思ひました。(もつともご当人はそれが当然と感じているかも知れませんが)

三人目はやはり脳卒中で言語障害があり、生活保護を受けている一人暮らしの老人でした。一年前に妻を失ない、一人娘は修道院に入

手や足の訓練よりも、一人暮らしの老人にとって最も大切なことは何か生き甲斐を持つことだと感じました。三名の米国人障害者の家庭を訪問して最も強い印象は、この仕事に携わる理学療法士は卓越した知識・技術の持主で、労をいとわな仕事好きであり、かつ患者や家族をいたわり励ますヒューマナな人でなければとうていいつとま



在宅患者の訪問指導を終えて・伊藤さん(右)とルノルフ氏

ちよつとのぞいた 米国のリハビリテーション

湖東総合病院理学療法士 伊藤日出男(曙町)

ナーシングホームという特別養護老人ホームがありました。「ケイロー」は敬老の意味で、すぐ近くには日本人病院もあります。現在八十四名の一世、二世の老人が入所しており、希望者が多いため「南ケイロー」という中間看護ホームができたそうです。この運営は、第一線で活躍中の日本人委員会の手によって一般からの寄付と銀行からの借入れでま

かなわれています。入所の費用は、生活保護の人にもいますが、大多数は年金を受けている人たちです。

ここには日本の老人ホームにあり勝ちな暗さは全くなく、建物全体が明るく清潔で、何よりも入所者自身に明治生まれの気骨の人が多いことに感心しました。もちろん、恍惚の人「もおり四、五人を除いて全員が車椅子を使っています。一般に長寿の人が多く、平均年齢は八十五歳で、最高は沖繩出身の百二歳の女性でした。私が話をしたのは和歌山出身の木下さんというおじ

いさんで、とても九十歳とは思えない張りのある声で「しっかり勉強して帰りたい」とと逆に応えられました。病室には家族の写真や、日本語の短冊などが飾ってあり、庭には小さな鯉のぼりが立っています。またホールの三台のテレビは一樣に「欽ドン」をやっており、一瞬日本の老人ホームと錯覚した程でした。ロサンゼルスには日本人向けのテレビ

放送があり、ボランティアがビデオにとつてくれたものです。

ボランティア活動は非常に盛んで、高校生や日本商社の夫人グループが定期的に訪問しています。休日には家族の面会が多いのですが、その他にも特に精神的な老後防止のために、孫と同年代の子どもたちと一緒にすごす日を設けて「刺激療法」と名づけています。

このような生活指導を担当するのは岸本フミエさんで、彼女に見せていただいた数冊のアルバムには日米両方の年間行事や、慰問の記録が整理されており、その熱意には頭の下がる思いでした。

日本の老人問題にはとかく暗いイメージを伴い勝ちですが、ここには日本の社会にはとうに失なわれた良い意味での高齢化社会が残されているように思われました。

おわりに

今回の研修で最も強く感じたのは、リハビリテーションの本来の姿は人間尊重であり、誰もが持っている生きる権利を保障し、国や地域の人たちがそれぞれの力を出し合つて、障害をもった人を援助してゆくことだと改めて痛感しました。

私たちの湖東総合病院では、病院にやってくる患者だけを相手にするのではなく、積極的に地域に出向いてリハビリテーション指導を行うことを方針としています。理学療法士や作業療法士が保健所や町村にも配置され、保健婦と同じように家庭に入り込んだ指導ができることが理想だと思います。

すぐには実現できないでしょうが、質の高い専門家を養成し、この方向に進めてゆくことが必要だと思います。

消すことのない消防体制を

― 婦人防火クラブ全国大会に参加して ―

上窓地婦人消防隊員 佐々木 ユ キ

昭和四十四年五月二日上窓地婦人消防隊を結成、当時部落では男性の大半が出稼ぎに出て、男手が少なく不慮の災害に対処すべく、そこで留守を守る婦人の手で全戸加入を呼びかけ自主的に消防隊と名をつけ、火災予防につとめて参りました。

早いもので十年目を迎え、その間、大過なく過すことが出来ました。このたび第四回婦人防火クラブ全国大会が、東京笹川記念館において開催され、私たちもその榮に浴することができ、お世話くださいました方々に對し、心から感謝申し上げる次第でございます。全国各地から参集した、八〇〇

人が一堂に会し、情報の交換、活動状況の紹介など、相互に交流をはかる機会を得ましたことは私たちに幸せこの上ないところでございます。

急速に発展して参りました高度成長時代、それにとまらぬ生活環境の近代化による各種の災害も多く、私たちの生活を不安におとし入れるものも多々あります。

なかでも火災は、消防当局の不眠不休のご努力にもかかわらず、年々悪化の一途をたどり、尊い人命や財産に多大の損害を与えております。今こそ私たち婦人の手で防火の運動を活発にしていかなければならないと痛感しております

会長のご講演の中で特に力説しておられましたことは「消防の確立をめざす」ことが一番大切だと云うことでした。

また来賓の方々からいろいろなご教示を賜り、二時間におたる大会内容の充実した話術に完全に魅了され、車中での一夜のつかれもふっとび、感激のうちに終了いたしました。

私たち消防隊は、ますます活動を充実して、火災の少ないほんとうに平和で、

全国大会に参加したみなさん



豊かな郷土になるようにみんなが努力して参りたいと思います。

かすんだ東京の空のもとから遠ざかり車中より目ざめたさわやかな朝、そこはもうわが秋田、何とまあまぶしくすばらしいわが郷土静かに迎えてくれる森山をながめながら朝七時四十分八郎湯へ無事到着できました。

総と東北開発」と題して記念講演が行われる。講師は、東京女子大文理文学部長の伊藤善市氏である。伊藤教授は、隣県山形の酒田市の生まれで、国土総合開発審議会の特別委員や東北開発審議会委員をつとめ、四十五年からは調査部長として「東北」を考えるマスタ―プランづくりに活躍している。

明日の秋田を考える
期待される
伊藤教授の講演会
十一月五日広域体育館

十一月五日午後一時三十分から
広域体育館三階体育室で、「三全

シリーズ△ 心の病氣 ⑯
老人と心の病氣 その三

秋田大学医学部附属病院
久 場 政 博
いままでのべたほかに、老人になると特有の心の病氣がでてきま



す。まず一つには、老年期に起るうつ病です。症状は第九回でわしくのべましたのはぶきますが初老期や若年のそれとくらべて、ゆううつな気分がとても強いことまただるさ、肩こり、便秘や食欲不振、あるいは不眠といった内科的な症状が強いことです。さらに

言を続けてきた地域開発の専門家であるところから、当日の講演は東北の中におけるわが秋田県が、二十一世紀への国土建設過程で、どのようなステップを踏み進んでいくのか、興味のある話題がふんだんにのめりこんで期待される。

産業文化祭の事務局では、明日を荷なう青年はもちろん、どなたでも参加していただき、私たちが町づくりに果す役割はなんであるか、お互いに考える場にしたとして多数の出席を呼びかけている

交通安全作品コンクールで

優秀賞に小林(富津内中)さん

県交通安全県民大会は十月二十

五日、県教育会館で、県内各地から関係者六百人が参加して行われた。

席上、交通安全功労者の表彰に続いて、交通安全児童・生徒作品(標語・作文・ポスター)コンクールの表彰が行われた。

当町からは富津内中学校の女生徒が優秀賞と入選になり表彰された。

表彰された生徒の氏名は次のとおりである。

▽優秀賞

小林 悦子(富津内中一年)

▽入選

伊藤 春美(富津内中二年)

☆ ☆

一日中イライラ感が消えず、部屋のなかをぐるぐる歩きまわったりもします。

のがあります。これは内科や外科や婦人科やもろもろのお医者さんにみてもらって、何も異常はないといわれたのに、相変わらず頭がいいたい、おなかがいいたい、手がしびれる、腰が痛い、くよくよ悩んでいる状態です。

ぼけの予防は

生きがいを見つけること

いるといつて、疑い深くなる状態です。疑い深くなる時がなくなり、自分のお金や大事なものが盗まれたら、大騒ぎになることもあります。

このほか老人特有のノイローゼ(神経症)として、極端にからだのことを心配する心気症というもの

さて、老人の心の病氣について三回にわたってのべてきましたがこれらはどうして起り、またどのようにしたらふせげるのでしょうか。

年をとるということは人間だれしも経験しなければなりません。そして、年をとるといことはす

べての人にとって、いままであったものが失われるともいえるのです。具体的にいいますと、精神的あるいは身体的な健康が少しずつそこなわれてきますし、経済的な自立もうしなわれます。極端になると家族や社会とのつながり、さらには生きる目的が失われることもあります。このような喪失体験がストレスとして作用し、なにかのきっかけで心の病におちこんでしまうわけです。

では予防とはいえますと、これはやはり生きる目的(生きがい)をみつけることにつきます。八〇歳近くまでバリバリ活躍してなくなったある有名な人の脳をみると、いままでのべたぼけのひどい状態と全くかわりなかったということもあります。生きがいがあれば、頭のなかの細胞はこわれていてもぼけの症状がでなかったわけです。



みごとな菊の花 ～幼稚園～

五城目幼稚園で、鉢（はち）植えの大輪の菊がみごとに咲いている。

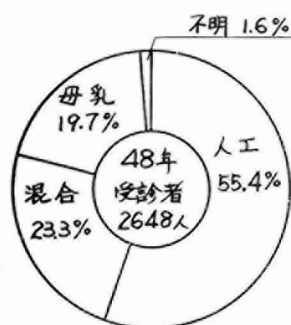
これは、同幼稚園の工藤さんの指導で、先生たちが一年かけて咲かせたものである。鉢の数は23で、職員室前のベランダや玄関わきに置かれており、幼稚園を訪れる人たちの目を楽しませている。10月の下旬に咲き始めたこれらの花の色は白、黄、紫などで、11月の中ごろまで咲いているそうである。園長の今村先生は「今年はできなかったが、来年は私もりっぱな菊の花を咲かせてみたい」と話していた。

栄養状況

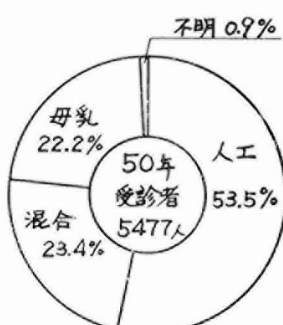
受診者 172人			
52年度	母乳 23.3%	混合 25.5%	人工 51.2%
3カ月児	受診者 183人		
53年度	母乳 20.2%	混合 31.2%	人工 48.6%

受診者 176人			
52年度	母乳 16.5%	混合 13.6%	人工 69.9%
6カ月児	受診者 172人		
53年度	母乳 18.0%	混合 13.4%	人工 68.6%

秋田県における栄養状況（3カ月児）



(対象: 23市町村)



(対象: 35市町村)

保育担当者

受診者 172人 その他 0.5%			
52年度	母 60.5%	祖母 39.0%	
3カ月児	その他 0.5%		
53年度	母 60.7%	祖母 38.8%	

受診者 183人

受診者 176人 その他 1.7%			
52年度	母 65.9%	祖母 32.4%	
6カ月児	その他 1.2%		
53年度	母 58.7%	祖母 40.1%	

受診者 172人

生れてくる赤ちゃんへの最大の贈り物、それは母乳です。母乳は赤ちゃんにとって最も自然な栄養です。お母さんが赤ちゃんをしつかり抱いて母乳を飲ませることはお母さんも満足を感じるだけでなく、赤ちゃんの心も安定し、将来心の豊かな人格を作る第一歩になるでしょう。

●毎月町で行っている乳児検診から赤ちゃんの栄養と母乳育児の現状について、昭和五十二年と五十三年度を比較しながら述べてみましょう。

●次に秋田県全体ではどの位母乳を与えているのでしょうか。

●秋田県全体を見ると年々母乳だ

●赤ちゃんを育てている人はだれでしょう。

●お母さんが育てている赤ちゃんの内どの位母乳で育てているのでしょうか。

●下図でわかるように三カ月児では、母親が育てていても母乳を与えている人が減ってきており、これは赤ちゃんの心配です。もし

●母乳はなぜよいのでしょうか。

一 乳児の死亡や、病気になる割合が低い。

二 母乳には免疫体が含まれていて、病気に対する抵抗力が強いのです。とくに始めてでる母乳は十分発達していない赤ちゃんの腸粘膜の表面を感染から守ります。また免疫物質を含んでいるため抵抗力のない赤ちゃんに自然に免疫を与えます。だから始めて飲ませる母乳は母乳であることが大切です。お産して四五日間までに出る母乳が一番大事です。

三 母乳の栄養成分は赤ちゃんにとって理想的です。消化吸収もよいのです。

四 母と子の愛情を深めます。

五 母体の回復を早めます。

六 育児が簡便で衛生的、経済的です。

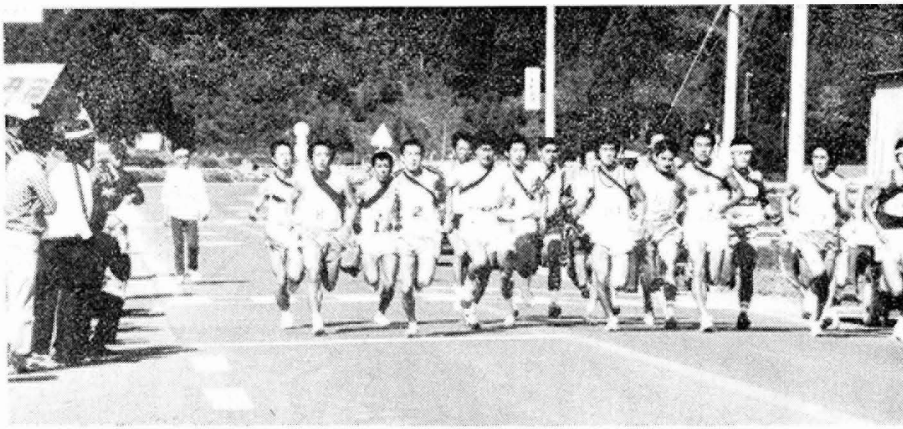
保育担当者か母の場合の栄養状況

受診者 104人			
52年度	母乳 36.6%	混合 24.0%	人工 39.4%
3カ月児	受診者 111人		
53年度	母乳 33.3%	混合 22.5%	人工 44.2%

受診者 116人			
52年度	母乳 22.4%	混合 11.2%	人工 66.4%
6カ月児	受診者 101人		
53年度	母乳 30.7%	混合 12.9%	人工 56.4%

赤ちゃんは母乳で育てましょう

—保健婦だより—



五城目のゴールをめざして健脚を競う～上小阿仁村で

五城目・上小阿仁間駅伝

湖東陸友会に凱(がい)歌

—三十八チーム紅葉街道ひた走る—

湖東陸友会初優勝

十月二十八日、第十五回五城目・上小阿仁間駅伝競走大会が三十八チームの参加で行われた。昨年は豪雨のため中止を余儀な

くされたこの大会も、今年は抜けるような晴天に恵まれ、午前十一時上小阿仁村役場前をスタートした。参加チームがあまり多いため事故防止の上から、二班に分れての競走になったが、阿仁・五城目街道の紅葉を縫いながら、若者たちの激しいデットヒートが繰り広げられた。

一時間三十七分五十一秒のタイムでテープを切った湖東陸友会が、二位の男鹿陸協を一分二十秒離して初優勝した。

五城目陸友会とは八位と成績がふるわなかったが、有望な選手が多いだけに、今後はいかにして選手をまとめ、育てあげていくかに課題があるようだ。

成績は次のとおりである。

(十位以下は町関係分だけ)

- ①湖東陸友会 (1、37、51)
- ②男鹿陸協 (1、38、31)
- ③秋田鉄道管理局 (1、39、46)
- ④能代マラソン会 (1、42、55)

- ⑤鹿角陸友会 (1、43、08)
 - ⑥森吉町陸協 (1、43、41)
 - ⑦若美駅伝クラブ (1、44、13)
 - ⑧五城目陸友会 (1、44、16)
 - ⑨雄物川駅伝同好会 (1、44、18)
 - ⑩平鹿オレンジクラブ (1、46、25)
 - ⑪五城目町農協 (1、56、16)
 - ⑫五城目水走会 (1、56、57)
- ▽区間ラップ
- 第一区
上小阿仁・南沢(七、九〇〇M)
安保芳也(秋田鉄道管理局)24、16
- 第二区
南沢・割山(六、〇〇〇M)
伊藤道春(湖東陸友会)19、57
- 第三区
割山・川堤(四、〇〇〇M)
伽羅谷豊欽(湖東陸友会)10、38
- 第四区
川堤・台(六、五〇〇M)
草間英男(湖東陸友会)18、47
- 第五区
台・広域体育館(七、六〇〇M)
松下司(男鹿陸協)22、44

五小校庭に粋な時計台



心温まる善意二つ

福祉と教育に三十万円

町功労者であり、町の歯科医師として親しまれていた田口耕市郎氏が八月十三日亡くなられたが、先頃その香典返しとして、社会福祉協議会に十万円、町内学校保健関係に二十万円を、ご子息の田口誠一氏から寄附されている。

関係機関では、この心温まる善

意を最大限効果のあがるよう、今その利用方を検討中である。

時を大切に

五城目小学校の校庭に一基の時計台が立った。これは同校PTA会長の原田啓蔵氏が寄贈(四十万円相当)したものである。

時計台の根元に「時を大切に」と小さな石碑が添えてある。

原田会長は、「時の大切さは、大人になると特に感じるが、その

交通安全の窓

秋の行楽期における交通事故を防止しよう
～地域の人達や家族みんなの力をあわせ、
子どもやお年寄りを交通事故から守ろう～

これから本格的な秋の行楽期を迎え、秋の収穫、秋祭りなどに伴い、飲酒運転、スピードの出し過ぎや無理な追越しによる重大事故の多発が予想されます。

この時期から12月にかけては、日暮れ時の歩行者自転車利用者の被害事故が多くなります。

運転者、歩行者、自転車利用者それぞれの立場で事故を起こさないよう、事故にあわないよう次のことに注意してください。

- (1) 飲酒運転は、「絶対にしない、させない」運動をみんなの力をあわせ実行し、飲酒運転を追放しよう。
- (2) スピードの出し過ぎや無理な追越しによる事故が多発しているので、ゆとりをもった安全走行を実行しよう。
- (3) 子どもの被害は、「とび出し」「車の直前横断」が多く、老人の被害は、「車の直前横断」「横断不適」が多くなっている。道路を横断するときは、よく安全を確かめて、手を上げてわたろう。

また夜間はドライバーから見やすい服装にし、持物、靴、自転車には反射シールをはり、事故にあ

わないよう注意しよう。

